

大江戸線延伸ニュース 第12号



平成26年3月発行

大江戸線延伸促進期成同盟
練馬区大江戸線延伸推進課



熱い思いを ひとつに 促進大会を開催しました

平成25年11月17日、区立大泉第一小学校体育館にて、練馬区内の関係31町会や区議会、区で構成する大江戸線延伸促進期成同盟による「大江戸線延伸促進大会」が行われました。大会では、期成同盟の会長である志村豊志郎区長が「導入空間の確保については完全に目途が立っている。大江戸線延伸に向けて関係機関への働きかけを強めていく」と力強くあいさつし、地域の力を結集して、国や東京都に対し、早急に鉄道事業の許可取得に向けた手続きを進めるよう要請していく旨の決議を行いました。（決議文は裏面参照）

当日は、会場に入りきれないほどたくさんの皆様に参加していただきました。また、会場には実物大のトンネル断面や、現在では手に入らない着工当時（昭和61年）に配布されたパンフレットが展示されるなど、家族連れや鉄道ファンも楽しむ姿が見られました。



たくさんの方々にご参加いただきました



記念撮影をする親子連れ

補助230号線が 交通開放されました

大江戸線の導入空間となる補助230号線の土支田地蔵西交差点～土支田通り区間が、平成25年11月15日に交通開放されました。

大泉学園町までの残り区間についても、東京都により、引き続き事業が進められています。



補助230号線
(土支田通りまでの交通開放)

練馬区長逝去のお知らせ

大江戸線延伸促進期成同盟会長である志村豊志郎練馬区長が、平成26年2月23日、ご自宅で急逝されました。

謹んでご報告申し上げます。

東京都、国土交通省へ要請活動を行いました



前田副知事からは「これまでの練馬区の実績に対して、敬意を表します。クリアしなければならない課題について、引き続き、取組みを進めていきます」とのコメントを頂きました。

◆実施日：平成25年12月17日（火）

◆出席者

【東京都】

前田副知事、新田交通局長、佐野都市整備局理事、邊見建設局道路監
他

【大江戸線延伸促進期成同盟】

会長 志村区長

副会長 小川大泉学園町東町会長、浅沼練馬区土支田町会長、

小泉区議会議員、琴尾副区長

他

【練馬区議会大江戸線延伸および沿線地域まちづくり促進議員連盟】

会長 中島練馬区議会議員

太田国土交通大臣からは「運輸政策審議会の答申で位置づけのある計画でもあり、国としても支援したい。」とのコメントを頂きました。



◆実施日：平成25年12月24日（火）

◆出席者

【国土交通省】

太田国土交通大臣

他

【大江戸線延伸促進期成同盟】

会長 志村区長

副会長 小泉区議会議員、琴尾副区長

顧問 菅原一秀衆議院議員 小林健二都議会議員

他

【練馬区議会大江戸線延伸および沿線地域まちづくり促進議員連盟】

会長 中島練馬区議会議員

(写)

大会決議

私たちの住む高松、土支田、大泉町、大泉学園町および西大泉地区は、練馬区の北西部に位置しており、最寄りの駅までは、バス、自動車、自転車等の交通手段に頼らざるを得ない、いわゆる鉄道空白地域である。

このような状況を解決するため、私たちは、昭和 63 年 7 月、「地下鉄 12 号線（現大江戸線）延伸促進期成同盟」を結成し、大江戸線の大泉学園町までの早期延伸の実現に向けて積極的な活動を展開した。その結果、平成 12 年の運輸政策審議会の答申では、光が丘から大泉学園町までは、「少なくとも目標年次である平成 27 年までに整備着手することが適当である路線」として位置付けられ、新宿や都心部へのアクセスの速達性向上の効果が期待できるとされた。一方、導入空間である都市計画道路補助第 230 号線の整備に時間が要すると見込まれ、速やかな整備着手は困難であるとされた。

こうしたことから、練馬区は、導入空間となる補助 230 号線の整備に資する、土支田中央土地区画整理事業をはじめとした沿道まちづくりに精力的に取り組み、私たちは、それを全力で支援してきた。現在、補助 230 号線は、大泉学園通りまでの全区間が事業化され、笹目通りから土支田通りまでの約 1.1 km の区間では、すでに交通開放されるまでに至り、18 号答申時における課題は确实かつ着実に解決する目途がたった。

そこで、本日、この「大江戸線延伸促進大会」において、私たちは、大江戸線の大泉学園町への延伸の早期実現に向け、地域の総意として、地域の力を結集し、国や東京都に対し、早急に鉄道事業の許可の取得に向けた手続きを進めるよう要請する。

以上、決議する。

平成 25 年 11 月 17 日

大江戸線延伸促進大会